

【資料2-1】 ☆思春期版家庭教育支援プログラム

テーマ：「思春期の子どもとの向き合い方学習会 ～我が子は思春期真っ只中～」(30分)

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・思春期の子どもとの向き合い方について保護者同士で話し合い、保護者として子どもにどう関わるかについて考えるきっかけとする。 		
実施のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しい雰囲気の中で、保護者同士がコミュニケーションを図り、意見や情報交換等ができるようにする。 ・普段の子どもとの関わり方をふりかえり、悩みを共有することで不安を解消し、今後の子どもへの接し方を考えられるようにする。 		
事前の準備	◇3つの約束カード ◇名札シート（タックシール） ◇アンケート回収箱 ◇配付資料（レジュメ、参考資料、アンケート用紙）		
	展 開	◆展開のポイント	備 考
導入 8分	◎テーマと注意事項の確認 1 自己紹介をする。 (1) グループ分け（座席ごと3～4人組） (2) 自己紹介その1（子どもの名前と住まいまたは出身中学） (3) 自己紹介その2（自分が高校時代に夢中になっていたこと）	<ul style="list-style-type: none"> ◆安心して話し合いができる雰囲気がつくられるようにする。 ◆座席の近く同士でグループ分けをして時間をかけないようにする。 ◆現在、高校生である子どもの気持ちを想像する準備とする。 ◆グループ内で話し合いがしやすくなる雰囲気づくりにつなげる。 ◆自己紹介その2は、1人1分程度で話してもらおう。 	□名札シート（子どもの名前）
W1 12分	2 レジュメをもとに、グループで子どもの気になっていることや心配なことについて自由に話しあう。 <ul style="list-style-type: none"> ・最近の子どもの様子 ・自分と子どもとの関係 ・家族と子どもとの関係 等 	<ul style="list-style-type: none"> ◆子どものことについて、最近気になっていること、悩みや不安等を自由に話してもらおう。 ◆自分と子どもとの関係をふりかえる機会とする。 	□レジュメ
資料 3分	4 資料をもとに思春期の子どもの特徴や傾向を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・資料「思春期とはこんな時期です」を活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆事例の話を取り入れるなどして、高校生の悩みや不安について理解を深めさせる。 	□資料
ふりかえり 7分	5 ふりかえり (1) 今後、思春期の子どもと関わる上で心がけたいことや保護者の心構えについて話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・個人で考えた後、グループ内で話をする (2) 全体でわかちあう。	<ul style="list-style-type: none"> ◆保護者の関わり方を中心に、家族と子ども、家族間、夫婦間で心がけたいことについても考えさせる。 ◆グループでどんなことが話し合われたか発表してもらおうことを、事前に伝えておく。 ◆高校生の悩みや不安を受け止めていく上で、保護者同士や保護者と教員との良好な関係づくりも大切であることにふれる。 	
事後	○アンケート用紙に記入する。	<ul style="list-style-type: none"> ◆クラス懇談会へ移動するまでの時間を利用して記入してもらおう。 ◆担当がアンケート回収箱を用意して、回収を行う。 	□アンケート用紙、アンケート回収箱

「思春期の子どもとの向き合い方学習会 ～我が子は思春期真っ只中～」

高校に入学してから半年が過ぎ、子どもたちには、どんな世界が広がるのだろうか？
高度な学習内容、遠くから通ってくる友だち、
これまでに知らなかった刺激的な世界…。
将来への夢や希望とちょっぴり不安に満ちた子どもたちに、大人はどのように
関わっていけば良いか、一緒に考えてみませんか？



1 まずはウォーミングアップ

- 自己紹介

2 ふいかえってみよう 私が思春期だった頃

- 高校時代、夢中になっていたこと（アイドル？ 部活動？ 勉強？・・・）

3 気になっていることはありますか？

- こんな場面はありませんか？



4 思春期はこんな時期です・・・

5 ふいかえり

- これから心がけたいことや保護者の心構えを考えてみましょう！

私は_____！

思春期とは、こんな時期です！



思春期の子どもの特徴にはどのようなものがあるの？

○自分の急激な変化に戸惑っています

子どもたちは表面的には明るく、悩みがないようにふるまっているかもしれませんが、内心は急激な体と心の変化に戸惑っています。

○親とあまり話をしなくなる傾向が見られます

この時期の子どもたちは、親や先生から干渉されることを嫌うようになります。子ども時代と変わって親に対して客観的な目を持つようになります。話しかけても無視したりする一方、放っておかれると見捨てられたと思い「すねる」など、矛盾した行動が見られます。親はこれに翻弄されることなくサポートしていくことが必要です。

○友達との関係に敏感になる傾向が見られます

自分の体と心の葛藤を親などに素直に相談しにくいことから、同じ状況に置かれている友達との関係を大切にしていきます。しかし、全員が本当に気持ちを許せる友達かといえば、そうではありません。中には仲間からはじかれられないように必死に付き合っている子どももいます。

○異性への関心が強くなる傾向にあります

男女とも、お互いに異性の存在が心の中に占める割合が大きくなり、このことが思春期の心の動揺を一層大きなものにしていきます。また、少しの刺激で過剰に反応したり、落ち込んで悩んだりして情緒が安定しません。特に大人の何気ない一言で傷ついたり、反対に励みになったりします。

○興味が変わり、新たな価値観を得ようとしはじめます

今まで興味がなかったことに関心が向きはじめたり、今までやらなかったことを始めたりすることがあります。運動、詩や日記など文学、音楽や絵など芸術活動をとおして、新たな自分を発見していくことが見られます。中にはミュージシャンになりたいと突然言い出して親が不安になることもあります。この時期のお子さんとしては心配いりません。

○“人間の本质”に関心が向くようになります

「なぜ勉強をしなければならないのか」「自分はどうやって生きて行こうか」「命とは何か」など自分が生きていく上で大切なことを考えたり悩んだりしていくようになります。反抗しながら親の生き方を取り入れていくことが多いので、親も自分の考えを見直さねばならないこともあるかもしれません。

☆学校で、子育てについて話し合おう☆

今ほど子どもを一人の自立した大人に育て上げることが難しい時代はありません。日本は戦後世界的な高度経済成長を遂げましたが、その陰で家族や社会の変化に伴い、現在12万人の不登校、100万人以上の成人したひきこもり状態があるといわれ、また、連日虐待に関するニュースが報道されています。

特に思春期以降は、子どもが自立に向かう時期で、この難しい社会に出て立ち立っていく準備の時であり、大きな不安や葛藤に揺さぶられつつ前進していく時です。

我々は、この大事な時期に、保護者、地域の方々が一緒に教育に関わっていくことが大切だと考え、今までのような講演会主体の学習会ではなく、保護者や地域の方々がそれぞれの体験を話し合う中でお互いに学び合えるプログラムを作りました。試行した学校では、保護者の体験からくる意見や悩みが次々と出され、学習会は非常に活気にあふれたものとなりました。

ぜひ、このプログラムを参考に参加型の学習会を開いていただき、保護者や地域の方々にも開かれたく子育ての拠点として、学校をより発展させていただきたいと願っております。

【資料2-4】

☆思春期の子どもとの向き合い方学習会アンケート

○みなさまの率直な感想をお聞かせください。

- 1 今回のプログラム「思春期の子どもとの向き合い方学習会～我が子は思春期真っ只中～」はいかがでしたか。
※実施前後の気持ちについて、あてはまるもの（近いもの）に○を付けてください。

(1) 実施前の気持ち

とても楽しみ	少し楽しみ	少し不満	とても不満
--------	-------	------	-------

(2) 実施後の気持ち

とても満足	少し満足	少し不満	とても不満
-------	------	------	-------

- 2 今回のプログラムに参加して、「気付き」や「学び」などありましたか。
※あてはまるものに○を付けてください。（複数回答可）

- ア 思春期の子どもの特性を理解することができた。
- イ 自分の子育てを振り返る機会となった。
- ウ 他の人も同じような悩みや不安を持っていることが分かり安心した。
- エ 新たなつながり（知り合い）をつくることができた。
- オ これから生かしたい、実践したいと思えることがあった。
- カ 今後のPTA活動や学校行事に参加しやすくなった。
- キ その他（具体的にお聞かせください）

- 3 その他、今回のプログラムについて、御意見・御感想を自由にお書きください。

御協力ありがとうございました